

教科・科目		家庭科 家庭総合					単位数	2単位	
							対象学年	2学年	
担当者	1 組		2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組
	内田・中田		船津・中田	内田・中田	船津・中田	内田・船津	内田・船津	内田・船津	
教科書		7 実教 家総703 家庭総合							
補助教材		実教出版 家庭総合 学習ノート 第一学習社 生活ハンドブック							
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭のと社会との関りについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。			家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。		
科目の目標		生活を主体的に営むために必要な家族・家庭・衣食住・消費や環境等について十分に理解するとともに、技術も習得している。			家庭や地域社会等の実生活の中から自ら問題を見出して課題とし、それについて深く考え実践することにより生活を改善することができる。		地域社会や家庭生活を見つめ直し、よりよい社会の構築に向けて主体的に活動し、工夫・改善・充実しようとしている。		
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	自立・家族・家庭	知 学んだことを理解できる			青年期の特徴・家族の在り方・家族にかかわる法律などについて理解し、自分のこれからの人生について具体的に考えることができる。	知 プリント・ノートへの記入。考查の得点		〇〇〇	12
		思 学んだ内容をいかして考えることができる				思 プリント・ノートへの記入。発言。			
		学 工夫し、改善しようとする姿勢が身についた				態 授業への取り組み態度			
	被服：刺し子の実習	知 刺し子の技法・歴史などについて理解できる			手縫いの基本的・基礎的な技術の習得	知 プリント・ノートへの記入。考查の得点		〇〇〇	6
		思 作業効率やデザインなどを考えながら製作できる				思 作品・プリントなど			
		学 配色・デザインなどを考え実践できる				態 製作に対する取り組み態度			
	中間考查	実施せず						〇〇	
	子ども：子どもとは	知 新生児がもつ能力を知り理解を深める			新生児期の特徴の理解する	知 プリント・ノートへの記入。考查の得点		〇〇〇	2
		思 声明について倫理観・育児性・自己実現などと結び付けて考えられる。				思 作品・プリントなど			
		学 乳児に関心を持ち、積極的にかかわろうとする態度を身につけた				態 課題への取り組み、授業時の態度			
子ども：子どもの発達	知 子どもの心身の発達の仕方と、大人とのかかわり方の重要性を理解する			乳幼児の心身発達の特徴を理解する	知 プリント・ノートへの記入。考查の得点		〇〇〇	2	
	思 乳幼児の特徴的な思考や行動から、子どもにどのように対応すべきか考えら				思 作品・プリントなど				
	学 子どもの心理に対して興味関心を持ち、理解しようとする				態 課題への取り組み、授業時の態度				
期末考查	実施する（全クラス共通）				考查の得点		〇〇	1	

2 学期	子ども：子どもの生活	知 乳幼児の衣食住の重要性を理解できる	乳幼児の生活の特徴を理解する	知 プリント・ノートへの記入。考查の得点	〇〇〇	10
		思 子どもの生活がより良くなるように考えることができる		思 作品・プリントなど		
		学 乳幼児に必要な環境を考え、整えようとしている		態 課題への取り組み、授業時の態度		
	食生活：栄養と食品のかかわり	知 五大栄養素の働きと、多く含む食品について理解する	食事の意義と、食品の栄養について理解する	知 プリント・ノートへの記入。考查の得点	〇〇〇	10
		思 自分が食べた献立を栄養素別に分類できる		思 作品・プリントなど		
		学 実験などを通して、食品と栄養の関係についての理解を深めようとしている		態 課題への取り組み、授業時の態度		
	中間考查	実施せず			〇〇	
	食生活：調理実習の安全と衛生、調理の効率	知 調理の基礎的な手順・技術などを理解する	食材の性質を理解し、安全に食事を計画・調理することができる	知 プリント・ノートへの記入。考查の得点	〇〇〇	7
		思 調理の安全・衛生、作業効率を考えながら行動できる		思 作品・プリントなど		
		学 安全に、衛生的に、効率よく実習に取り組むことができる。		態 実習・課題への取り組み、授業時の態度		
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考查	実施する（全クラス共通）		考查の得点	〇〇	1
3 学期	消費経済	知 消費生活者として必要な知識の習得		知 プリント・ノートへの記入。考查の得点	〇〇〇	17
		思 場に応じた対応を考えることができる		思 作品・プリントなど		
		学 生活設計に応じた対応を考えようとする		態 課題への取り組み、授業時の態度		
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考查	実施する（全クラス共通）		考查の得点	〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		家庭・家庭総合					単位数	1 単位	
							対象学年	3 学年	
担当者	1 組		2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組
	船津・内田		中田・船津	中田・内田	船津・内田	中田・内田	中田・内田	中田・船津	中田・内田
教科書		家庭総合 実教出版							
補助教材		家庭総合 学習ノート 実教出版							
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭との社会との関りについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。			生涯を見通して、家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。		
科目の目標		人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭との社会との関りについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。			生涯を見通して、家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。		
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	高齢者とかかわる	知 高齢期を取り巻く環境を知る	・ 高齢者への理解 ・ 高齢者とかかわる ・ 高齢者を支える社会	知 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している	〇〇〇	8			
		思 高齢社会における自分の役割を理解できる		思 高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる					
		学 高齢期の課題解決に主体的に取り組む		態 高齢者の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている					
		知		知	〇〇〇				
		思		思					
		学		態					
	中間考査					〇〇			
	社会とかかわる	知 福祉や社会支援について理解する	・ 社会保障制度のしくみ ・ 地域社会の一員としての自覚	知 社会福祉の意味や社会保障制度の仕組みについて理解できる	〇〇〇	4			
		思 社会の一員として課題を設定し解決する力がある		思 社会保障制度等、現在の生活課題と関連させながら考えることができる					
		学 さまざまな人々と協働し、よりよい社会を築く働きができる		態 社会福祉・保障等、地域での支えあいの仕組みについて意欲的に取り組む					
	知		知	〇〇〇					
	思		思						
	学		態						
期末考査					〇〇				

2 学期	住生活をつくる	知 安全や環境に配慮した住居の機能について理解する	・人と住まいのかかわり ・健康的で安全な室内環境 ・持続可能な住まいづくり	知 安全で快適な住まいや環境について理解し、課題についても認識している	〇〇〇	9
		思 住居の機能性や快適性について課題を設定し解決する力がある		思 快適な住環境のために課題を見つけ課題解決の方策を考えることができる		
		学 自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実勢印象としている		態 よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組んでいる		
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	中間考査				〇〇	
	衣生活をつくる	知 被服の機能と着装について理解する	・衣服の機能 ・洗濯と環境 ・安全で快適な衣生活	知 素材の種類や特徴についての知識を身に付け、適切な選択ができる	〇〇〇	5
		思 機能性や快適性に課題を見つけ解決する力を身に付けている		思 衣服の用途によって、適切な衣服素材を考え判断することができる		
		学 衣生活と健康について課題の解決に主体的に取り組む、実践する		態 衣生活を取り巻く状況について関心を持ち改善・向上に取り組む		
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考査				〇〇	
3 学期	食生活をつくる	知 自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている	・健康的な食生活 ・食品の選択と表示 ・食品の安全性 ・食生活と環境	知 栄養・食品・調理の知識をいかし、家族の献立を作成することができる	〇〇〇	9
		思 健康や環境に配慮した食生活に課題を見つけ解決する力を身に付けている		思 栄養の機能と食品の関わりなど科学的な思考を身に付け、判断ができる		
		学 食生活と健康について課題の解決に主体的に取り組む		態 関心を持ち、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めている		
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		家庭 3年選択 ファッション造形基礎				単位数		2 単位	
						対象学年		3 学年	
担当者	B 枠								
	船津								
教科書		7 実教 家庭705 ファッション造形基礎							
補助教材									
目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標		人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭のと社会との関りについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。		家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。			
科目の目標		被服製作に必要な知識・技術の習得		作業の安全や作業効率を考えながら、作品を自分の思い描く形に仕上げる		生活を豊かにすることを目標に製作を進めることができる自分の感性や技術を生かしていくことができる。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知	思	態
1 学期	靴袋の製作	知	細かな裁縫技術（基礎・基本）を身につける	道具や用具の名称と安全な使い方を身につけさせる。アイロンやミシン、待ち針の扱い方を確実に身につける	知	安全に効率よく道具を使うことができる	〇〇〇		6
		思	丁寧に仕上げることを考えて作業を進めることができる		思	安全に効率よく作業を進めることができる			
		学	ほかの作品制作に意欲がもてる		態	製作に臨む態度			
		知			知				
		思			思				
		学			態				
	中間考查	実施せず					〇〇		
	フレアスカート製作	知	スカートの構成が理解できる。製作に必要な道具の名称・安全な使い方が理解できる	道具や用具の名称と安全な使い方を身につけさせる。	知	安全に効率よく道具を使うことができる	〇〇〇		8
		思	安全で効率よく製作を進めることができる		思	安全に効率よく作業を進めることができる			
		学	作品の中に個性を反映させたり、次の作品を計画することができる		態	製作に臨む態度			
		知			知				
		思			思				
		学			態				
	期末考查	実施せず							

2 学期	ショートパンツの製作	知 パンツの構成が理解できる。製作に必要な道具の名称・安全な使い方が理解	パンツの構成や名称を知る。道具や用具の名称と安全な使い方を身につけさせる。	知 安全に効率よく道具を使うことができる	〇〇〇	12
		思 安全で効率よく製作を進めることができる		思 安全に効率よく作業を進めることができる		
		学 作品の中に個性を反映させたり、次の作品を計画することができる		態 製作に臨む態度		
	ポートネックシャツの製作	知 細かな裁縫技術（基礎・基本）を身につける	シャツの構成や各部位の始末の方法を身につけさせる。	知 安全に効率よく道具を使うことができる	〇〇〇	16
		思 丁寧に仕上げることを考えて作業を進めることができる		思 安全に効率よく作業を進めることができる		
		学 ほかの作品制作に意欲がもてる		態 製作に臨む態度		
	中間考査	実施せず				
3 学期	自由課題の製作	知 1・2学期に学んだことが生かせる	道具や用具の名称と安全な使い方を身につけさせる。アイロンやミシン、待ち針の扱い方を確実に身につける	知 安全に効率よく道具を使うことができる	〇〇〇	14
		思 学んだことをいかして製作を進めることができる		思 安全に効率よく作業を進めることができる		
		学 安全や効率に配慮しながら、学んだことをいかし工夫して製作ができる		態 製作に臨む態度		
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考査	実施せず				
3 学期	自由課題の製作の仕上げと発表（プレゼン）	知 1・2学期に学んだことが生かせる	道具や用具の名称と安全な使い方を身につけさせる。アイロンやミシン、待ち針の扱い方を確実に身につける	知 安全に効率よく道具を使うことができる	〇〇〇	14
		思 学んだことをいかして製作を進めることができる		思 安全に効率よく作業を進めることができる		
		学 安全や効率に配慮しながら、学んだことをいかし工夫して製作ができる		態 製作に臨む態度		
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考査	実施せず			〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		家庭・保育基礎					単位数	2 単位	
							対象学年	3 学年	
担当者	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組	
	A 帯								
教科書		保育基礎 実教出版							
補助教材		保育基礎 学習ノート 実教出版							
目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標		人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭との社会との関りについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。		生涯を見通して、家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。			
科目の目標		保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。 子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。		子どもの発達や保育にかかわる現状について理解を深めたうえで課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。		子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どものすこやかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	子どもの保育	知 保育の意義と重症性を知る		・ 保育の意義 ・ 一人ひとりに合わせた指導 ・ 幼児教育・保育の場	知 保育者の役割を理解し、考察できる		〇〇〇	10	
		思 家庭や保育の場の課題を見つけ改善策を見つける			思 発達時期を考慮した保育の必要性を身に付けている				
		学 保育者に必要な資質を知り、保育者観を身に付ける			態 保育者の役割を理解し資質や能力を積極的に取り組んでいる				
		知			知		〇〇〇		
		思			思				
		学			態				
	中間考査							〇〇	
	子どもの発達	知 人の発育・発達において共通性や個性があることを理解する		・ 発育と発達 ・ 身体的・生理的特徴 ・ 社会・情緒的な発達	知 子どもの身体の発達過程や生理的特徴について理解している		〇〇〇	14	
		思 母体や大人との関りについての必要性や課題を見つけることができる			思 愛着関係形成のための大人の適切なかわり方について考察ができる				
		学 子どもの発達を理解し、それぞれのステージに合った保育ができる			態 子どもの心の発達の特徴と経過を理解し子どもと接することができる				
		知			知		〇〇〇		
		思			思				
		学			態				
	期末考査							〇〇	

2 学期	子どもの文化	知 児童文化財の意義について理解する	・子どもの文化 ・遊びと発達 ・遊びと表現活動	知 絵本や遊びの必要性を理解する	〇〇〇	14
		思 子どもの遊びの必要性和課題を見つける		思 子どもの遊びの必要性和課題を見つけ改善策を出し実践できる		
		学 発達に応じた児童文化財を提供できる		学 発達に応じた児童文化財を理解し、自ら考え作り出すことができる		
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	中間考査				〇〇	
	子どもの生活	知 基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の知識と技術を身に付ける	・生活と養護 ・基本的な生活習慣 ・社会的な生活習慣 ・子どもの健康管理	知 子どもが生活習慣を身に付けるための援助の方法の知識・技術を身に付けた	〇〇〇	14
		思 健康管理や事故防止についての課題を見つけ改善策を考える		思 子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考えることができる		
		態 子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身に付ける		態 子どもの生活に関心を持ち、主体的に保育の技術を身に付けようとしている		
3 学期	子どもの福祉	知 子ども観は国や地域、時代によって変化していることを理解する	・権利の主体としての子ども ・児童福祉 ・地域の子育て支援 ・社会的擁護	知 子ども観の変遷や、権利の主体として尊重されつつある状況を理解している	〇〇〇	18
		思 子育て支援の今後の課題と展望について考察できる		思 子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考え、提案することができる		
		態 児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考える		態 子どもの幸せについて自分の意見や考え方をまとめることができる		
		知		知	〇〇〇	
		思		思		
		学		態		
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度